

学校利用と一般利用が共存、誰もが気軽に水に親しめるプール



**設置** 武豊町

**運営** 指定管理者：武豊ウェルネスパートナーズ  
☎ (0569) 84-0220

**所在地**  
・愛知県知多郡武豊町忠白田11-7

**アクセス**  
・JR武豊駅から車で4分

DATA

- 竣工  
・2022年
- 規模  
・延床面積 5,553.80 m<sup>2</sup>
- 総事業費  
・約41億円(税込)  
一学校施設環境改善交付金

■主な設備

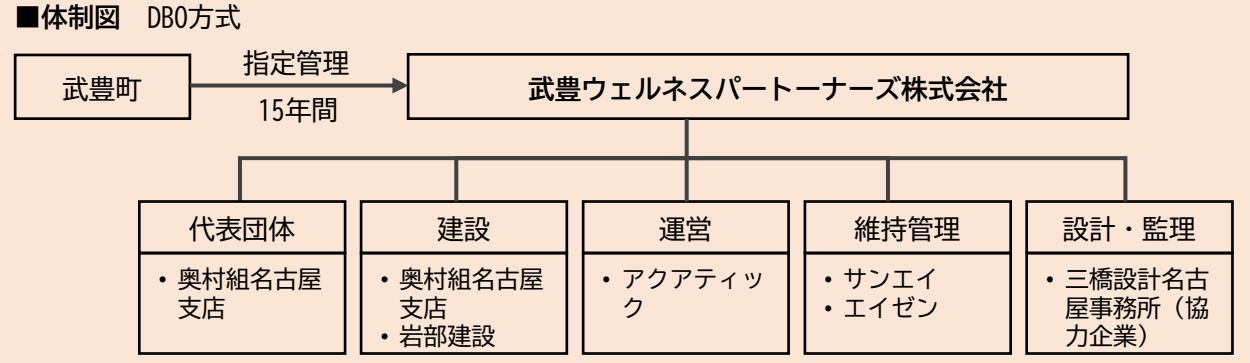
屋内温水プール  
メインプール25m×8コースほか

スタジオ

トレーニングルーム

温浴施設

<その他>  
・ジャグジー  
・売店  
・会議室  
・レクリエーションスペース  
・キッズスペース  
・多目的室  
・飲食販売スペース 等



構想・計画      設計・建設      管理・運営

○住民の健康増進と学校教育の機能を併せ持つ施設

■**町民の健康増進のための施設へのニーズ**

・本町では、近年の健康志向ブームによりメタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの予防や改善として運動を始める人が増加していることから、誰でも無理なく実践できる水中運動が注目されており、住民から健康づくりができ、集い・憩える温水プールの建設の要望が多くあった。

高齢者にとっては気軽に始めることができる運動である。屋内温水プールを利用することで天候に左右されることがないため計画的に運動を継続することが可能

■**老朽化する学校プールへの対応**

・武豊町内4つの小学校において、プールの老朽化が進行、その改修に膨大な費用を要することが見込まれていた。また、小学校のプールは屋外で天候に左右されるため、必要な水泳の授業時間を確保することが難しい年もあるという課題が見られ、その対策が必要となっていた。

**町民にとって交流の場ともなる屋内温水プール**

町民の健康増進機能

- ・誰でも親しめる
- ・安全で快適
- ・始めやすい
- ・様々な交流
- ・環境にやさしい

✕

小学校プール代替施設

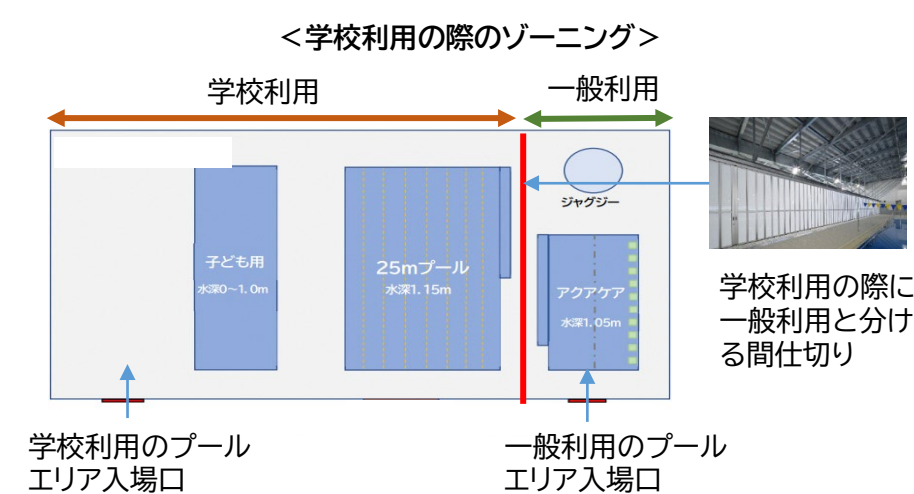
**基本理念**

○一般利用と学校利用との動線を分けた設計

■**利用者の安全性や利便性に配慮した空間構成**

・構想段階から一般利用と小学校の教育利用との共用を想定していたため、双方の安全性や利便性に配慮し、両者にとってわかりやすいゾーニングや空間構成を実現している。

・具体的には、建物入口や更衣室、プールエリアの入口に至るまで学校利用と一般利用との動線を分けている。また、学校利用の際は25mプールと子ども用プールを学校が使用、25mプールとアクアケアプールとの間に設置した可動式の間仕切りを閉めることで双方が目線を気にせず安心して利用できる設計とした。



○一般利用と学校利用が共存した運営の実施

■**様々な一般利用者に配慮した取組**

・利用料金については、障害者は通常の5割、その介助者は1名無料、18歳未満障害児は無料とし、利用促進を図っている。

・また、多くの市民の方に利用してもらうために、エントランスに「意見箱」を設置し、毎月その意見に対する回答を行い、改善を図っている。

・施設のホームページに加え、月1回、町の広報誌や各種SNS等を用いて積極的に情報発信を行っている。



■**学校優先での日程調整**

・学校教育利用は1学期(4月～7月)の午前中で、その間プールは学校利用優先としている。

・4校が利用するため、各校の授業実施日を曜日固定している。

	1・2時限	3・4時限
子ども用プール	低学年	低学年
メインプール	高学年	高学年



プール

➤ 学校教育利用と一般利用の共同利用のため、子どもから大人までが安全・利用しやすい空間を実現するための様々な事項が配慮されている。

プールサイドが狭いと、学校教育利用が難しいとともに、親子等の一般利用者の歩行や車いす利用者、足が不自由な高齢者等の通行等の妨げになる恐れがあるため、スポーツを「する」場として安全面を配慮した工夫が求められる。



【要求水準書】

- ・プールサイドは、学校利用時、児童 170 人以上の同時利用に対応できるスペースを設けること。
- ・学校授業時に授業見学者が待機できるスペースをプールサイドに設けること。

＜一般利用への波及＞

学校利用時の要求水準が一般利用の際、ユニバーサルな空間の実現に寄与している。

- 広々としたプールサイドによる高齢者や障がい者も歩きやすい環境
- 親子での利用においても、親が安心して子どもと一緒に運動することができる環境
- 障害児を対象としたプログラムも安全な環境で展開 など

プールサイドは、滑りやすく転倒してケガのリスクにつながりやすい環境である。



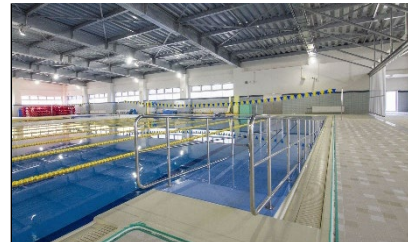
滑りにくい床にすることによって、子どもや足が不自由な方にとって安全な環境。

子どもと大人では体格が異なることから、水道や目洗い場の高さに留意する必要がある。



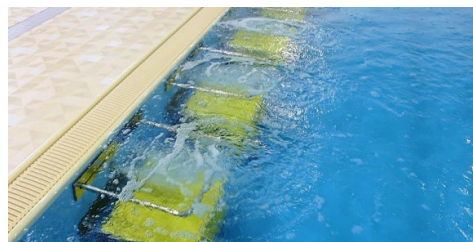
高さが異なる洗面を設置するとともに、車いす利用者も利用できるよう、台の下もあけている。

プールの入水は、足が不自由な利用者は負担となり、利用の障壁となる。



プールにスロープを設け、足の不自由な方だけではなく、車いす利用のまま入水することが可能。

プールで泳いだり歩いたりするなど、なかなか身体を動かすことが難しい利用者もいる。



運動補助器具を設置したアクアケアプールを設置、様々な運動法を提案し、誰もが気軽に利用できる工夫を実施。

高齢者等の中には、入水直前まで杖を使わないと転倒のリスクがある。



プールサイドで杖を利用できるように、プールサイドにつえ立てを設置し、安全を確保。

障害者等は介助者がいる場合もあり、更衣室等の障壁がある。



十分な広さもあり、下段が開いているロッカーは車いす利用者も手が伸ばしやすい。車いすトイレも更衣室内にあり、水着のまま利用可。

障害者は立ったままシャワーを浴びづらい。



座ってシャワーを浴びることができるように椅子を設置。



更衣室としても利用できる会議室



プールで泳いだ後の冷えた身体を温めリラックス効果もあるジャグジーと温浴施設も設置

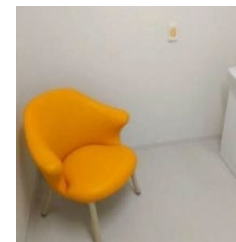


		←子ども用プール側→				アクアケアプール側→			
基本	8	7	6	5	4	3	2	1	
	遊泳	遊泳	25m	50m	50m	25m	練習	歩行	
2コース使用	8	7	6	5	4	3	2	1	
	水泳教室	水泳教室	遊泳	25m	50m	25m	練習	歩行	

25m プール等は、様々な利用を可能とするため、コースごとに利用方法を決めて運営している。

その他の施設

授乳スペースは男性が入りづらい。



男性も入りやすいよう授乳スペースを「ベビーケアルーム」とネーミング。また、他者がベビーケアルームを使用中でも調乳できるよう、浄水給湯器は外に設置。

一般用のトレーニングマシンでは車いす利用者が使いづらい



椅子をずらすことにより車いすに乗ったまま利用可能なトレーニングマシン。

雨の日等、車いす利用者が入口まで濡れてしまい、負担となる。



入口が近く、屋根がある部分に広いスペースの優先駐車場を設置

休憩や子どもの待ち時間に過ごす場所がなく、交流も希薄である。



プールやトレーニング室を利用しなくても利用できる飲食販売スペースと休憩スペースの設置。

利用者現状

利用人数

【利用人数】

- ・一般利用 44,437人
- ・会員 49,708人 (2022年4月～2023年1月)

【学校教育利用】

- ・学校教育利用は4校のうち、児童数により2校が20回、もう2校が35回の授業を実施
- ・2022年4月～7月までの延べ利用者数は11,481人 (参加者10,789名、見学者692名)

効果

- ・オープンしてから利用者の評価も概ね好評である。
- ・特別対応が難しかった例や想定と異なった点などは見られていない。
- ・開業後間もないが、現状では「町民の健康増進」「子どもの健やかな成長」「交流の場の提供」という町の条例に明記された方向性に資する施設としての役割を果たしている。

利用者Voice

- ・とてもきれいで、プールのコースもたくさんあって泳ぎやすい。(一般利用)
- ・トレーニング室を利用したのですがスタッフの対応、器具ともに素晴らしいです。利用料金も安いと感じました。(一般利用)
- ・施設スタッフが児童に声をかけてくださり助かった。(学校の教職員)
- ・トイレに行きたくなったり体調不良の児童に対する監視員の対応が早くて良かった。(学校の教職員)